

# カトリック

平田 司教 認可  
発行所 福岡市中央区浄水通39  
福岡司教館  
兼人 山田 成章  
編集 電話092-522-5139  
振替口座 福岡42981  
定価 一部 20円

祈禱の使徒会  
(一般) 司祭および修道者の召命  
の増加  
(布教) 大洋州における福音宣教



山元真師の叙階式

## 喜びの聖なる油注がれる

創設50年目に新司祭誕生  
新田原教会の祈り天に通ず

雨もよつの三月二十日 階式のミサをはじめた。  
午後一時三〇分、新田原カトリック教会(主任山川辰幸師、信徒一六五一人)で、山元真師の司祭叙階式が盛大に行われた。  
小教区開設以来50年目の、最初の司祭誕生という壮挙に、喜びと自信にみちた信徒たちが、三々五々聖堂内に参集した。定刻を知らせる鐘の音がひびく中を、主司教者平田司教は、六〇人の司祭団と入場し、叙階式のミサをはじめた。平田司教は、叙階の儀直前の説教をつぎのよつに切り出した。「みなさんは50年このかた、善き牧者司祭を与え、くたさいと祈り続けてきたが、聞きとけられた。壮厳な儀式で司祭叙階式ができることは、私にも皆さんにとつても感謝の心で一杯である。また、14年前神学校に入り、よい友よい先生にとり囲まれながら、司祭職を指してきた新司祭の胸中は、余りに余りあるものがある。更に、心をよく捧げた、両親やその一族に心からお礼を申し上げたい。」

最後に、新司祭が生渾神のみに忠実であるように、また、後輩の司祭志願者のためにも祈りと配感をお願いして話を結んだ。  
やがて、叙階の儀、感謝の祭儀と進み、一時間四十五分に及ぶ壮厳な儀式は終了した。  
聖堂内の祝賀式典では、教区青年団が大分県岐部町から、徒歩で二十二時間かけて巡礼しながら運んだという十字架の贈りものが印象的であった。四人姉弟の末子である山元師は、一九六六年小神学校一九七二年大神学院入学、一九八〇年卒業と同時に司祭叙階。

ストを原点とする司祭職の在り方を熱く説いた。「司祭とは？キリストの救いのみ業に参与する者である。善き牧者キリストにつづく者である。『私は羊をよく知り、羊はまた、私をよく知っている』キリストは『羊に生命を、豊かな生命を与えるために来た』。牧草や水がどこにあるかを羊に知らせ飲食させる。飢えた群集をパングで養い、とくに、か弱い、病気の羊のためにじつとしておれない。羊を探し求め、迷える羊を羊の家(教会)に連れ戻すキリストは、愛する者のため苦しむことを苦しみを感じない。司祭は聖体、ゆるしの秘跡をもって善き牧者の任務を果たす。地上の雑音は聞こえても、神のみ声が聞こえない病気の羊を治す司祭の仕事は、キリストそのものである。信者の司牧だけでなく、キリストを知らない人のためにも働くのである。」



山元新司祭



松井助祭

### 助祭四(福岡教区一)

#### 福岡・大神学院の叙階式

福岡サンズルビス大神学院は、三月十六日午前十時から、助祭ならびに下級聖品の叙階式を行った。糸永鹿兒島司教を主司教者、平田福岡司教や多数の司祭の共同司式ミサで三人の宣教奉仕者(福岡教区一、長崎教区一、鹿兒島教区二)、四人の教会奉仕者(長崎教区四)、四人の助祭(長崎教区三、福岡教区二)が誕生した。その一人松井助祭は福岡教区小倉大神学院は八年制で、ラテン科二年、哲学科二年、神学科四年となつていて、原則として、高校生または大学卒の未婚男子信徒で、司祭職を志望する者でなければならぬ。宣教奉仕者は神学科一年末に、教会奉仕者は神学科二年末に、助祭は神学科三年の三月に叙階されるのが一般である。



お礼をのべる新司祭

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有)シオタ事務機・(株)日本幼育社

社長 カシミロ・塩田五郎

福岡市南区大楠2丁目23-15(西田ビル2F)

TEL 代表 092(521)-8266-7

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306  
52-8622